

令和8年度 第1回福智町地域公共交通会議

日時	令和8年6月19日（水） 10：00～11：05
場所	福智町役場 3階会議室
事務局	企画振興課
参加者	<出席者> 関係者：16名 （会長）福智町 副町長：竹下 靖／（副会長）福智町商工会 会長：池田 昇／西鉄バス筑豊株式会社 田川支社 支社長：和多 正範／有限会社プラス観光 代表取締役：石山 吏生／福智町行政区会 会長：嶋野 勝／福智町民生委員・児童委員協議会 会長：高橋 千恵／九州運輸局福岡運輸支局 支局長：永松 靖二（代理：牟田 嘉伊座）／一般社団法人福岡バス協会 専務理事：河津 隆幸／福岡県筑豊地区タクシー協会 専務：四元 浩／福岡県田川県土整備事務所用地課 管理係長：中村 謙一／福岡県田川警察署交通課 交通総務係長：戸田 智宏／福智町社会福祉協議会 事務局長：中野 雅浩／福智町 総務課長：長野 士郎／福智町 福祉課長：藤村 成美／福智町 学校教育課長：田中 智和／福岡県企画・地域振興部 交通政策課 企画主幹：稲富 靖治 事務局：4名 企画振興課 課長：木村 貴代美／企画振興課 課長補佐：犬丸且久／企画振興課 係長：立花 正太郎／企画振興課 主事：小林 麻鈴 計画策定支援事業者（千代田 C）：2名 川崎 謙次／成田 光裕 <欠席者> 関係者：6名 田川構内自動車株式会社 代表取締役専務：嘉久 遥一郎／平成筑豊鉄道株式会社 代表取締役社長：河合 賢一／西鉄グループバス労働組合 副執行委員長：熊本 正志／福岡県立大学 人間社会学部公共社会学科 教授：堤 圭史郎／福智町 PTA 連合会 会長：福永 孝允／福岡県企画・地域振興部 交通政策課 課長補佐：安成 健一郎（敬称略）
次第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 議題 報告事項 （1） 計画策定にあたって （2） ふく～るバス実績報告 協議事項 （1） 令和7年度決算報告（監査報告）について （2） 令和8年度予算の変更について （3） 地域公共交通計画認定申請書 （地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請）について （4） ふく～るバス ミーティングポイント（MTP） 追加要望の審議について 4. その他
配布資料	・資料1：計画策定のポイント ・資料2：ふく～るバス実績報告 ・資料3：令和7年度決算報告について ・資料4：令和8年度予算の変更について ・資料5：地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書（案）について ・資料6：ふく～るバス MTP 追加要望の審議について

< 1. 開会 >

【事務局説明】

会長（竹下副町長）：平素より福智町地域公共交通についてご尽力いただき感謝申し上げます。
さっそく本日の議題を事務局より説明願いたい。

< 2. 委嘱状交付 >

【事務局より新委員紹介】

< 3. 議題 >

報告事項（１）計画策定にあたって

【事務局説明】

運輸支局（牟田氏）：ふく～るバス以外の公共交通の利用者推移は把握しているか。

事務局：福智町では、ふく～るバス以外に平成筑豊鉄道とタクシーが公共交通となるが、利用者数推移は現在把握していない。平成筑豊鉄道については、昨年度のアンケート調査等で数字は持っているが、本日は持参していない。

バス協会（河津委員）：①現計画の到達点を把握した上で次の計画に進むということで良いか。

②この計画は福智町で閉じた計画か。広域も含むのか。

事務局：①現計画の目標値等の達成状況は数値化して到達点を把握した上で次期計画に進む。

②基本的には町内を軸に検討していく。一方で、平成筑豊鉄道のバス転換が示されたため、現在は具体的には決まっていないが、今後の平成筑豊鉄道等の状況を見ながら町外移動についても協議が必要になると考えている。

行政区会（嶋野委員）：地域価値創出の成功事例はあるか。

事務局：観光施設や商業施設、公共施設で公共交通を使うとお得になるポイント制度などの事例がある。
公共交通利用者が施設を訪れ、施設利用者も公共交通を利用するという相乗効果が生まれている。
現計画では、公共交通の利用者数などを KPI 目標として設定してきた。今後の計画においては、外出機会や健康増進といった観点を踏まえた目標設定なども盛り込みながら、公共交通に限定せず、地域住民の生活の質がどのように向上したかなどについても重要な視点と考えている。
これらの点については、今後の会議の中で議論を重ねながら、目標設定できればと考えている。

報告事項（２）ふく～るバス実績報告

【事務局説明】

●質疑なし

協議事項（１）令和７年度決算報告について

【事務局説明】

●承認

協議事項（２）令和８年度予算の変更について

【事務局説明】

●承認

協議事項（３）地域公共交通計画認定申請書（地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請）について
【事務局説明】

行政区会（嶋野委員）：地域内フィーダー系統とはなにか。

事務局：平成筑豊鉄道などの町外へ出ていく幹線系統に対して接続をされている町内公共交通を地域内フィーダー系統といいます。町内を運行しているふく～るバスがフィーダー系統に該当していると判断してもらうために申請書を作成しているところです。

●承認

協議事項（４）ふく～るバス ミーティングポイント（MTP）追加要望の審議について
【事務局説明】

福智町民生委員・児童委員協議会（高橋委員）：どういう経緯で追加要望が出たのか。

事務局：地域の高齢者が多く、既存 MTP の金田郵便局への道路横断が大変で危険であること、郵便局での乗降が歩道で危険であることが理由である。

周辺に既存 MTP が４つあることから、事務局として今回は設置しない方向で進みたい。

●承認

運輸支局（牟田氏）：既存 MTP の中尾入口はどういった方が利用されているのか。

事務局：MTP 周辺の高台に集落があり、集落の方の利用となっている。福祉バスが運行しているときも中尾入口のバス停があり、そのまま現在も利用している。

運輸支局（牟田氏）：MTP の設置について、どの程度の期間を要するのか。

事務局：MTP が決まった後もシステム内の更新や運転手への周知などの段取りが生じ、順調に進んだ場合でも１か月から１か月半程度の期間を要する。

●承認

< ４．その他 >

事務局：毎回会議で報告しているふく～るバス運行実績について、今年度は計画策定時期であり、協議資料も多くなることも踏まえ、次回から参考資料としてご提示したい。

< ５．閉会 >